

## 南木曾中学校 入学式 あいさつ ( 要旨 )

新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日からいよいよ中学生です。小学校を卒業してまだ間はありませんが、気持ちを切り替えて新しい生活を始めることを願っています。

小学校の卒業式でも言いましたが、中学校は大人になるための準備をしていくところです。大きくなったらどんな人になるのか、どんな仕事に就くのか、自分の将来や夢・希望をはっきりと描き出せるようにしていかななくてはなりません。これからの3年間で皆さんにとって有意義なものとなることを願っています。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。子ども達も多感な時期を迎え、これまでとは違ったご苦労も出てこようかとは思いますが、どんな時も子ども達と向き合い、気持ちを合わせて成長を見守って頂きたいと存じます。大きくなったから子ども任せということにならぬよう、家庭としての務めも果たして頂く中、行政・地域も一体となって、未来を担ってくれる若者達を育てていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

先生方にはこれから様々な場面で子ども達がお世話になりますこと、コロナ禍の大変な中ですが、先生方がお持ちの見識や経験、愛情を持って導いて頂くことをお願い致します。

さて、先週金曜日には東京オリンピックの聖火が南木曾を通過して行きました。見た人も大勢いるかと思えます。オリンピックもどういった形で開催にされるかわかりませんし決まっていな事も多くありますが、まずは安全で安心に開催できることを願うばかりです。どうなるかわからない状況の中でも今も懸命に準備をする皆さんには頭の下がる思いです。人間誰しも上手くいくと結果がわかっている、自分の願ったような結果になると知っていれば努力をします。努力を重ねます。でも現実には先のことは判らない、結果も判りません。これは人生も一緒です。私達の日々の生活も「一寸先は闇」というくらいで、ちょっとした先のことすら判りません。先のことがわからない、結果がわからない現実の中でも努力できるか、チャレンジできるか、頑張れかということです。先のことが判らなくても努力しましょう。結果は判らないけど、チャレンジをしていきましょう。皆さんにはそれが出来る若さ、可能性があります。必ず答えはついてくるはず。努力した分だけ自分の元へ必ず帰ってきます。自分の可能性を信じて努力を重ねチャレンジする若者であって欲しいと思えます。

皆さんは今日から南木曾中学校の一員です。南中生徒としての自覚と誇りを持ち、若者らしく堂々と前向きな気持ちで新しい学校生活を始めてくれることを期待しながら挨拶と致します。

今日は本当におめでとう。